

総合支所への対応と対策について

松本 政義

問 総合支所における、担当「課」の減少への対応と対策について聞きたい。

答 平成19年の組織改正では、行財政改革を推進する中で、市全体として職員数の削減が求められており、本庁と総合支所で別々に同じような事務を行う不効率を解消することからも、事務の効率化と、住民サービス提供のバランスを考慮した結果、各総合支所から、産業振興課、都市整備課、下水道課、教育委員会事務局については廃止とし、本庁への集約を行っております。この組織改正に際しては、運動施設等の貸し出しは公民館で引き続き行うなど、市民の利用頻度の高いサービスにつきましては、利便性の点から混乱をまねかぬよう配慮しております。各総合支所総務課に

総合案内窓口を設け、市民の方がご来所の際にはご用件をお聞きして、必要に応じて本庁の各担当課に連絡、または調整、取り次ぎ等、親切・丁寧に対応するように指示しております。

問 総合支所の廃止や、その時期について聞きたい。

答 総合支所の段階的な集約については、行財政改革推進計画の中に盛り込まれております。職員につきましても今後10年間における削減計画を設けまして、順次削減してまいります。総合支所の完全廃止時期につきましては、現在、決定されておりません。



花園総合支所

図書館の整備は

新井 慎一

問 郷土資料や郷土出版物の取り扱いはどうなっているのか。

答 随時受け入れておりますが、これまで管理上の問題もあり、開架書架に並ぶことなく、来館者に知られることがあまりありませんでした。貴重な資料や郷土のことを知っていたいただくことは大切なことです。今後は、新しく受け入れたものについては、できる範囲で管内への展示も行つてまいります。

問 利用者の調査・研究の相談にきちんと対応しているのか。

答 カウンターにいる職員が随時行っております。件数は平成16年度で5522件、17年度で6681件、18年度で6282件、主な内容としては、渋沢栄一翁に関するもの、



深谷図書館

深谷の祭りや方言、活断層についてなどです。今後さらに増えることが予想され、質問の内容も高度になってくると思われますので、職員の研修に力を入れると共に、専門的な知識を有する方々にボランティアとしてご協力いただくことも視野に入れ、過去の事例などもデータ化し、迅速かつ均一な対応ができるよう、計画してまいります。

市民と協働のまちづくり に市民大学設立を！

加藤 温子

問 新深谷市の指針、総合振興計画の施策を具体的に推進、さらに高齢者・団塊世代の生きがい、仲間づくり、地域社会への対応策として、より幅広い学習内容で学長は市長、講師は職員・地域の識見者で市民大学の設立の考えは。

答 保健センターによる市民健康大学、年6回を実施。公民館活動で川本福寿草大学、年5回を初め独自性を生かし高齢者のための講座を開講、生涯学習の推進に取り組んでいます。今後、地元に進出する大学も含め専門的知識の分析、分野の整理と共に、地域の専門的知識を持った人々とタイアップし、裾野を広げていく検討を、少し時間をいただきたいと思っております。

問 支所空室を大学の拠点に。10月より勤務時間内で公

自助、共助、公助、 まずは自治会の 自主防災組織づくり

宇多村春恵

問 食糧、その他の備蓄品の現状と防災倉庫、避難所の数は。

答 アルファ米、クラッカー、ビスケット、乾パン等で3万4386食、5000ベットのボトルで水を4512本、資機材、日用品、料理機材他備蓄。旧深谷9公民館、岡部防災倉庫、川本・花園総合支所、ビッグタートル等18カ所、69カ所です。

問 200自治会があるが、自主防災組織ができていないのは、自分の命は自分で守る観点から達成の目標は。

答 現在33カ所、50%を目標にしております。昔ながらの釜・かまどで煮炊きの経験はできるか。自主防災組織の一環として貸し出しはできます。



防風林

問 防風林の保全に支援は。

答 深谷市森林整備計画の対象になっており、伐採、1ha未満の転用は市に届出、1ha以上は県の許可が必要です。地元の要望があり地権者の同意があれば防風保安林指定が受けられ税金の軽減や免除があります。解除は指定理由の消滅、目的に優先する公益上の理由が生じたときとなっております。

問 県条例で「ふるりの景観地」の指定があるが、市の考えは。

答 新市の総合振興計画の中で緑の空間の保全と創造として記述します。新たに緑の基本計画を3年を目途に作る中で市として何ができるのか調査研究していきます。

児童虐待発生予防 対策を市としては 何かしているか？

五間くみ子

問 厚生労働省が進める「生後4か月までの全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）」が発行予防に効果があるとされ実施が求められているが、市としてはどう取り組んでいるのか。

答 現在は実施しておりません。それにかわる取り組みとして、妊産婦新生児訪問事業があり対応しております。

問 連動する事業として「育児支援家庭訪問事業」があるが、市としての取り組みは。

答 妊産婦新生児訪問事業を行った後、子育てに不安や孤立感を抱いている方へ、保健師による訪問指導が行われており、平成18年度は新生児訪問実施者の約3割にあたる145件の実績がありました。今後さらなる充実が必要とされることから、事業実施に向け検討してまいります。

問 現在女子トイレの便器は5基すべて和式である。幅広い世代の方が利用するトイレとしてはサービスが不十分ではないか。数個を洋式へ改装できないか、市の考えは。

答 市民の皆様により身近で利用しやすい洋式便器へ、男子トイレ女子トイレあわせて数基を改装してまいります。



岡部公民館

問 岡部公民館中心の一体的改修期間中、多目的センター・本郷農業センターの利用について。

答 利用できるように、施設管理のJA深谷、シルバー人材等に対して調整します。

〈議会あれこれ〉議場について... 議場は、議会活動の中心となる会議の場所であり、議長席、議員席、議長席、議事事務局長席、演壇、市長席、教育長席、説明者席、速記者席などからなっております。